

女性活躍推進事業【名張市】

地域の実情と課題

平成26年度に当市が実施した事業所向けの意識調査では、「育児や介護との両立支援」や、「ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組」について、「特に何も行っていない」と回答した事業所が、それぞれ12.2%、22%で、育児休業の取得(H25年度)に関しては、男性の取得率がわずかに1.1%と、非常に低い状況が明らかとなった。

女性活躍推進法の施行等により国や県で女性活躍のためのさまざまな施策が展開される中、当市においても事業所等に対する啓発の取組が求められている。

事業の特徴

名張市男女共同参画推進フォーラム2016において、イクボスの取組を推進するための研修会を実施。先進企業による講演の後、講師をコーディネーターとしてパネルディスカッションを行った。市内企業2社と当市の取組についてのプレゼンテーションに次ぎ、その取組についてコーディネーターが掘り下げる時間を設けた。

各事業所の取組を知り、また同様の目標に取り組む企業の視点で質疑応答をすることにより、短時間でも核心をつくことができる研修会となった。

事業の効果

一般市民の方の参加も多く、予想していたよりも若い世代の参加があったため、広く一般に啓発することができた。参加者のアンケートは実施したが、今後事業所へのアンケートや市民意識調査等により、長期的な効果を検証していく必要がある。

数値目標として掲げるものについては、「ポジティブ・アクション」の認知度(現状値10.7%)、働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていると思う市民の割合(現状値27.4%)等の項目により効果が期待される。

目的・目標

女性の活躍推進は、働き方の見直しやダイバーシティの推進等に繋がり、事業所における女性活躍推進の取組は広がりつつあるが、十分ではない。県の「女性の大活躍推進三重県会議」等の取組により女性活躍の機運が高まる中、今年3月に策定する当市の第2次基本計画では、数値目標に「女性活躍推進法」の認知度を平成33年度までに30%とすること掲げている。更なるイクボスの推進により女性活躍に繋げていく観点から当事業を行った。

今後の市民意識調査等により、達成状況を検証する。

連携団体

- ・県内の女性活躍推進企業(3社)
- ・名張商工会議所
- ・三重県

今後の課題

見込んでいたよりも、事業所の参加が少なかったため、無駄のない効果的な広報方法を熟考する必要がある。また、会場に対する不満の意見もあったため、今後会場の変更は要検討である。

名張市男女共同参画推進フォーラム2016

平成29年1月14日（土）13：30～ 名張市武道交流館いきいき多目的ホール

基調講演

講師に松浦信男さん（万協製薬株式会社社長）をお迎えし、基調講演「イクボスが企業を成長させる～中小企業社長のイクボスの取組について～」と題した基調講演を行いました。

松浦さんご自身の体験や思いに笑いを交えた講演で、会場の皆さんには楽しみながら学んでいただきました。リーダーとしての考え方についても述べられ、中でも「会社の目的は青春の継続、青春とは心の持ち方」という話は印象的で、「素敵なお考え方でした」といった感想もいただきました。



パネルディスカッション

講演後のパネルディスカッションは、松浦さんにコーディネーターを務めていただき、株式会社ベルウイング常務取締役・増田義子さん、名張近鉄ガス株式会社総務部総務・人事チームチーフ・高木ひかるさん、名張市長をパネリストとして実施しました。

「男女が働きやすい環境づくり～女性の活躍推進～ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて」という題目で、それぞれの企業での取組について伺い、その後松浦さんからの質疑応答の時間を設けました。

アンケートにお答えいただいたほぼ全ての方から「大変よかった」「よかった」という感想をいただきました。